

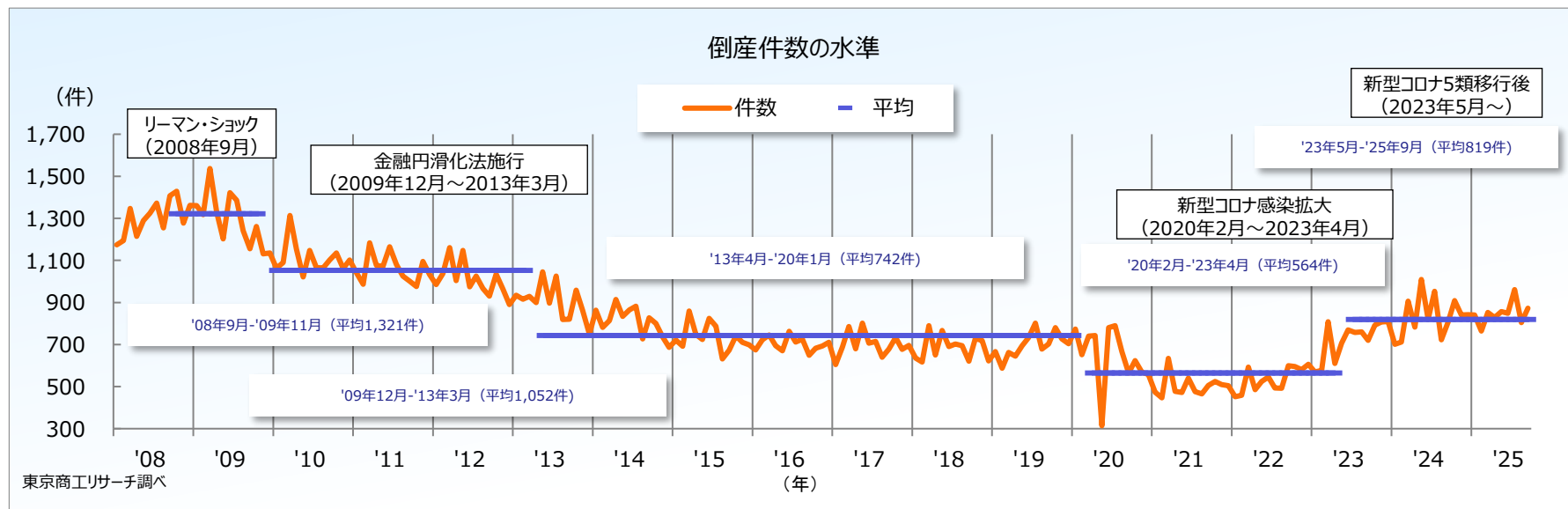
2025/11/19

東京都商工会連合会

企業の倒産動向と危険な兆候、倒産事例について

倒産動向

倒産動向：（全国） 今後の見通し

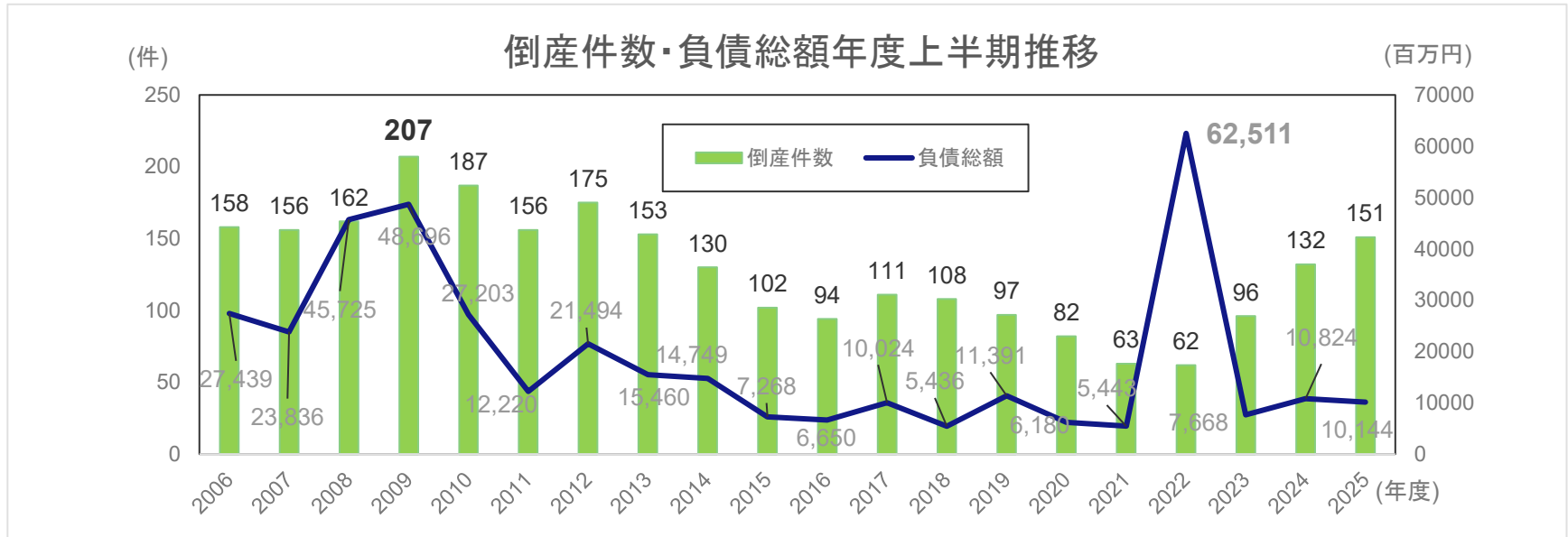


2025年度上半期（4-9月）の全国企業倒産（負債額1,000万円以上）

件数：5,172件（前年同期比1.5%増）

負債総額：6,927億7,200万円（同49.6%減）

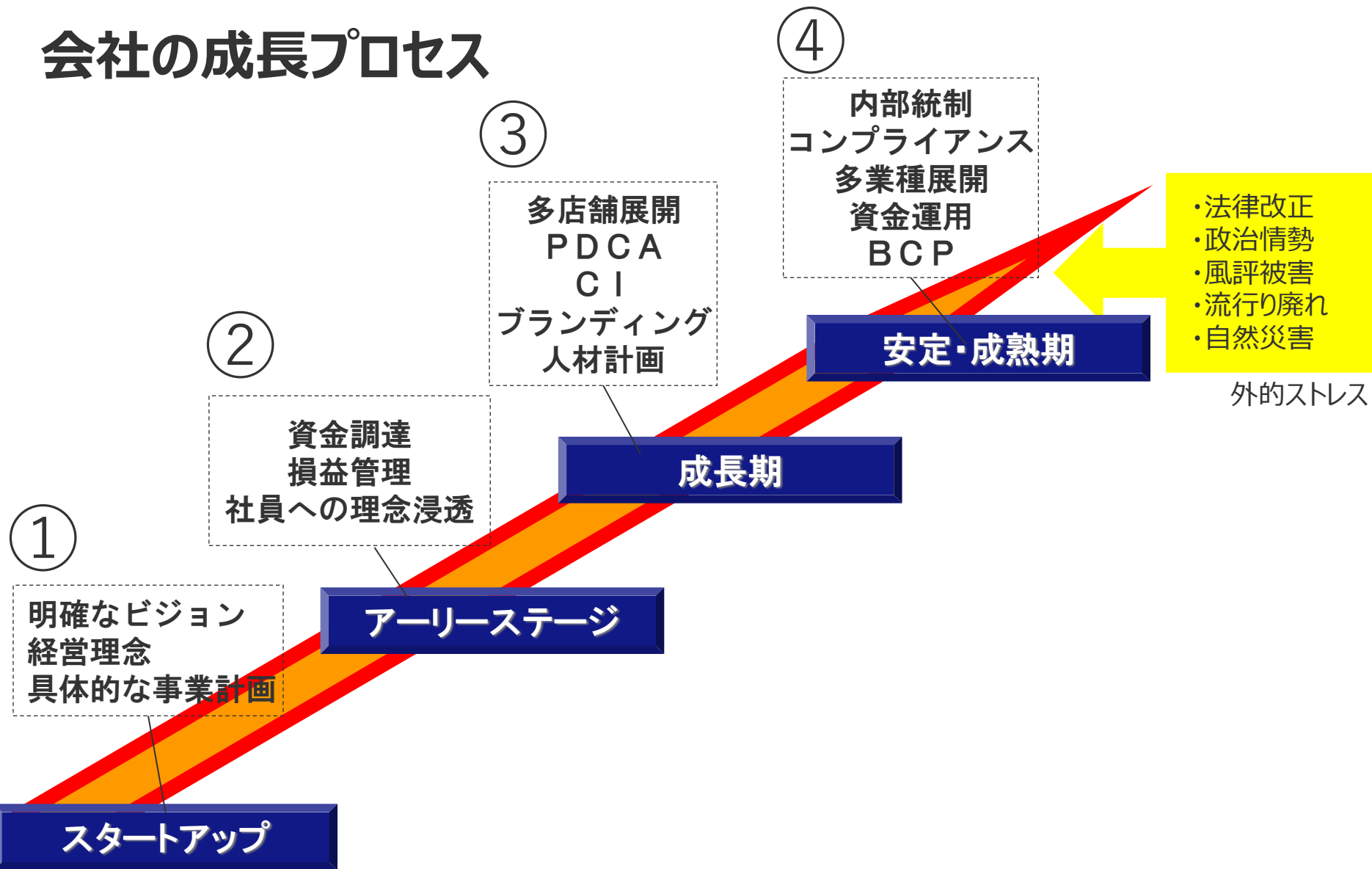
倒産動向：（東京都多摩地域）



2025年度上半期（4-9月）の東京都多摩地域企業倒産（負債額1,000万円以上）
 件数：151件（前年同期比14.4%増）
 負債総額：104億1,400万円（同6.3%減）

事例に学ぶ ～ 失敗（倒産）と成功（伸長）～ :

会社の成長プロセス



会社の破綻兆候

内部問題

①
コンプライアンス違反
後継者問題
人手不足
外注費高騰

②
売上低迷
競争激化
商品成熟
設備投資失敗
不良債権発生

③
リストラ
新商品開発
資産売却
多角化
新規開拓

④
早期換金
粉飾
借入増加
融通手形
担保急増

⑤
支払条件変更
支払遅延
社会保険未払
市中金融利用
取引銀行撤退

倒産

業績悪化傾向

業績改善策

赤字累積

財務面逼迫

法律改正
政治情勢
風評被害
流行り廃れ
自然災害

外的ストレス

業績回復
倒産回避

失敗事例として丸正運輸を見てみましょう

危ない会社 20の兆候

倒産事例
3社紹介します

TSR サービスのご案内
取引先の兆候、見通しを見極めましょう

掲載年月日：2024/1/31 | TSR 企業スコア：4.88(5.00) | 業種：テクノロジー | 業種平均値

サンプル企業 株式会社
 Sample Ltd.
 所在地：東京都中央区本町2-10-10 本町ビル
 TEL: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX
 URL: https://sample.com/tsr.html (仮称) Sample Japan

企業診断 (評価)

企業スコアの
 構成要素
 17/29 点
 12/25 点
 25/45 点
 18/18 点

企業スコア
58点



業績

指標	2024年実績	2023年実績	2022年実績
売上高	1,000,000	950,000	900,000
営業利益	200,000	180,000	160,000
経常利益	150,000	140,000	130,000
純利益	100,000	90,000	80,000

金融取引状況

項目	2024年実績	2023年実績	2022年実績
総資産	100,000	95,000	90,000
負債総額	50,000	45,000	40,000
純資産	50,000	50,000	50,000

所見

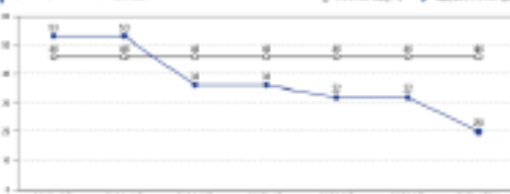
本社の成長性、製品開発の進捗、マーケティング、2024年9月現在のスコアが、業界平均値を1.5ポイント上回る。これは、市場での競争優位性を示唆している。また、財務健全性も高く、リスクスコアも業界平均値を下回っている。

基本情報

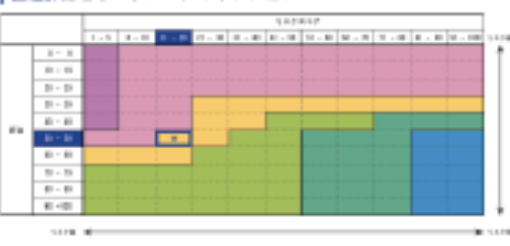
従業員数：200名 (2024年12月31日現在)
 業種：テクノロジー (ソフトウェア開発)
 主要市場：国内市場 (東京、大阪)
 主要顧客：大手企業、中小企業
 主要製品：クラウドサービス、SaaS
 主要競合：サンプルA社、サンプルB社

サンプル企業 株式会社
 Sample Ltd.
 所在地：〒100-0001 東京都中央区本町2-10-10 本町ビル
 TEL: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX
 URL: https://sample.com/tsr.html (仮称) Sample Japan

リスクスコア履歴



直近評価点とリスクスコアのポジション



掲載年月日：2024/1/31 | TSR 企業スコア：4.88(5.00) | 業種：テクノロジー | 業種平均値

サンプル企業 株式会社
 Sample Ltd.
 所在地：東京都中央区本町2-10-10 本町ビル
 TEL: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX
 URL: https://sample.com/tsr.html (仮称) Sample Japan

金融取引形態

取引先	取引内容	取引金額	取引回数
サンプルA社	ソフトウェア開発	100,000	100
サンプルB社	クラウドサービス	200,000	200
サンプルC社	コンサルティング	50,000	50
サンプルD社	システムインテグレーション	150,000	150
合計		500,000	500

既住業績推移

決算期	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2024年1-3月	250,000	50,000	40,000	30,000
2023年4-6月	240,000	48,000	38,000	28,000
2023年7-9月	230,000	46,000	36,000	26,000
2023年10-12月	220,000	44,000	34,000	24,000
2023年1-3月	210,000	42,000	32,000	22,000
2022年4-6月	200,000	40,000	30,000	20,000

資金状況・金融取引状況・その他

【資金状況】
 2024年9月末の現金当座は100,000円を記録し、前年同月末に比べて10%増加している。これは、営業活動による現金の増加と、外部からの調達による増加が主な要因である。また、負債総額は50,000円であり、純資産は50,000円を維持している。これは、財務健全性を示唆している。

【金融取引状況】
 2024年1-3月の金融取引総額は500,000円であり、前年同四半期に比べて10%増加している。これは、主要顧客からの取引が増加したことが主な要因である。また、取引先は多岐にわたっており、リスク分散が図られている。

【その他】
 2024年1-3月の売上高は250,000円であり、前年同四半期に比べて10%増加している。これは、新製品の発売と、既存製品の需要増加が主な要因である。また、営業利益は50,000円であり、前年同四半期に比べて10%増加している。これは、コスト削減と、価格設定の最適化が主な要因である。

圧倒的な情報量

- 企業の評価項目は**200項目以上**
- 業界平均値との比較なども掲載

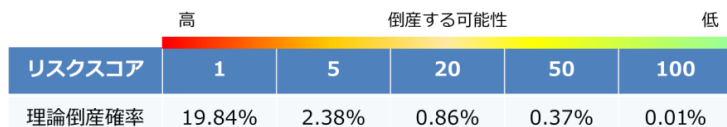
みやすいレイアウト

- 図表/グラフをふんだんに掲載

■ リスクスコアとは

「向こう1年以内に倒産するリスクを統計的に算出した値」

- リスクスコア算出に利用する項目
 - 企業属性情報 業種、地域、業歴、従業員数 等
 - 財務情報 売上高等基本財務情報、過去分を含む財務情報 等
 - その他の情報 照会回数、信用情報 等**
- リスクスコアの値と倒産確率



スコアレンジ	倒産確率
1	19.84%
2~4	3.96%
5~10	1.82%
11~20	1.07%
21~49	0.55%
50~75	0.28%
76~89	0.15%
90~95	0.09%
96~98	0.05%
99~100	0.02%

評点は企業に対し「経営者能力」、「成長性」、「安定性」、「公開性・総合世評」の4つの視点で評価した定性的な指標です。TSR調査員が直接企業を100点満点の実数で評価した数値で、取引時に企業を客観的に判断する指標として広く活用されています。

一方、リスクスコアは倒産確率に焦点を当てて自動算出された指標です。リスクスコアが「1」の場合、倒産確率は19.84%となり、同じ「1」の企業を100社集めた場合、1年間（12ヶ月）以内に19~20社が倒産することになります。このリスクスコアの精度は非常に高く、実際に倒産した企業をみると、ほとんどの企業で倒産に近いタイミングでの大きな変化（大幅な下落など）が確認されます。

■ 評点とリスクスコアの違い

	TSR評点	リスクスコア
目的	企業の総合評価	企業の倒産リスクを示す指標
算出方法	各評価基準の積み上げ ・経営者能力 ・成長性 ・安定性 ・公開性及び総合世評	過去の倒産企業の傾向分析に基づく統計予測モデル
特徴	調査員による判断 定性的・総合的	自動算出 定量的・客観的
更新頻度	調査時	日次

相互補完

評価基準

警戒	: 29点以下	取引は 要検討 レベル
一応警戒	: 30 ~ 49点	取引には リスク があり
多少注意	: 50 ~ 64点	取引には 多少のリスク があり
無難	: 65 ~ 79点	一般的な 優良企業
警戒不要	: 80 ~ 100点	超優良企業 で国内では 一握り

なぜ調査会社を活用するの？

1. 客観的な評価の入手

自社で得た情報とのすり合わせ、比較検討

2. 費用対効果

審査の時間、費用負担の軽減⇒自社での情報収集コストとの見合い

3. 独自情報の把握

手形情報、噂などの周辺情報の収集、調査対象会社の取引先のコメント、見方、各企業との関係の整理（相関図）

4. 取引対象企業に知られずに調査

取引先に対して財務諸表まで求めることが厳しい先、調査していることを知られると取引を断る先には第三者（調査会社）を通すことで内々に審査

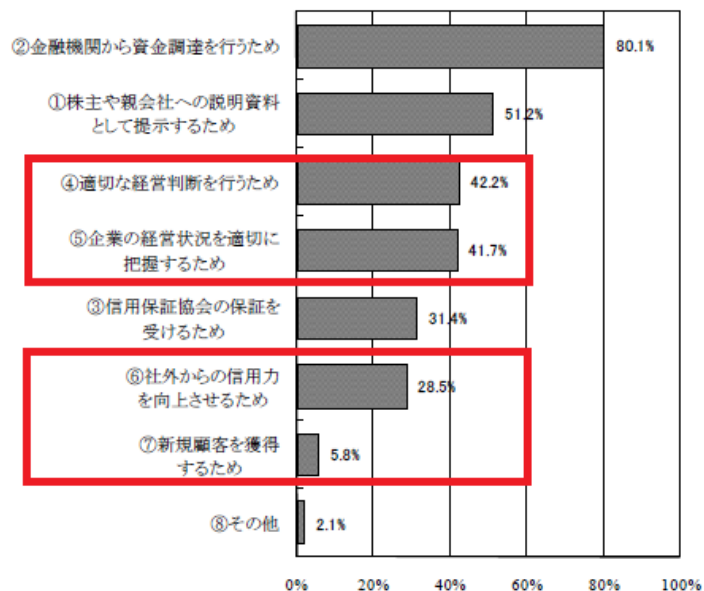
5. リスクマネジメントの体系化

組織として与信管理プロセスを守ったという裏付け

自社の信用を高めるために

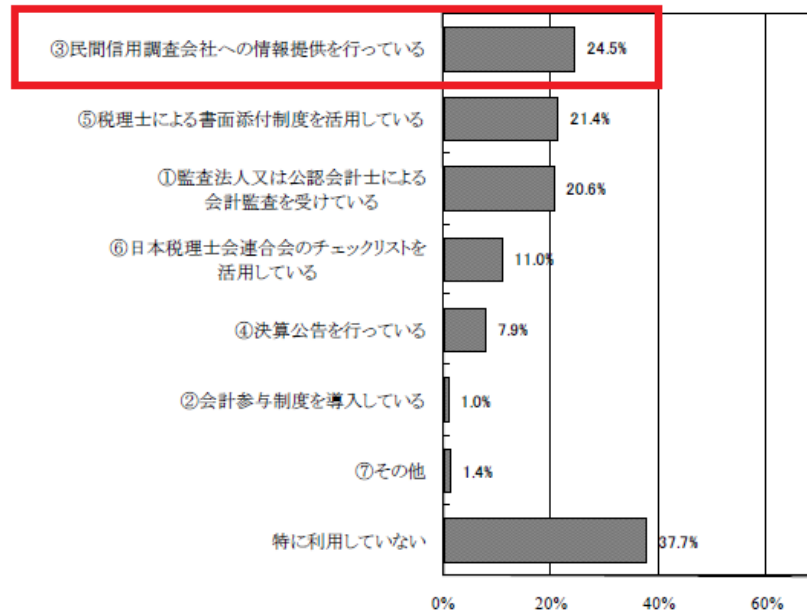
(2) 決算書等の開示理由について

図表3-2



(6) 決算書の信用力を高めるための取り組みについて

図表3-6



(出典) 中小企業庁委託 新日本監査法人実施「平成21年度中小企業の会計に関する実態調査事業 集計・分析結果」

1. M社

平成16年4月21日調査 衣料品製造販売、日用雑貨品販売、印刷業

- 度重なる登記移転 ● 代表者倒産歴 3 回、行方不明 1 回 ● 怪しげな会社案内 ● 事務所アポなし訪問に慌てる様子

2. D社

平成16年4月7日調査 食料品・日用雑貨品販売、広告代理業

- 雑居ビル 1 F、社名表記が紙 ● 会社案内記載の取引先社名は大半が架空 ● 取引金融機関にも照会多数 ● 仕入先は疑念

3. Z社

平成17年11月9日調査 食肉・水産物・農産物の加工、卸売及び小売

- 取引先架空 ● 業態さながらの在庫積み上げ。なかには関係のない商品在庫も ● 決算書に矛盾（売掛計上も在庫ゼロ等）

4. T社

平成22年3月19日調査 社員寮・学生寮の運営、不動産業、不動産投資顧問業

- ガランとした事務所 ● 妙に丁寧な対応 ● 同一地同士での登記移転 ● 資金出所不明瞭 ● オーナーとされる人物に逮捕歴

TSRメールマガジンに 是非ともご登録下さい(無料)



1. 全国企業倒産状況を毎月配信！
2. ビジネスに必要な知識や情報を連載！
3. 会員向けセミナー、イベントに優先招待！
4. 与信管理、セールスマーケティングに
役立つ情報を配信！

<https://www.tsr-net.co.jp/mail/index.html>